

ほめること・認め合うこと 菊池省三先生の特別授業より

師走とは旧暦(陰暦)12月のことです。昔は正月にもお経をあげていて、師匠である僧侶がお経をあげるために東へ西へと馳せることを意味する「師馳す(しはす)」が転じたものだそうです。

さて、11月27日(金)に全国的に著名な『菊池省三』先生をお迎えしての校内研究を行いました。ここで改めて菊池省三先生を紹介します。菊池先生は北九州市でいわゆる『学級崩壊』をおこしたクラスをことごとく立て直し、そればかりか見事に子どもたちを成長させ、卒業させていった先生です。その手腕は九州地方のマスコミで話題となり、やがて東京のNHKが『プロフェッショナル仕事の流儀』で取り上げ、全国に情報発信しました。これが大きな転機となり、民放各局にも



『たけしのニッポンのミカタ』『世界一受けたい授業』など次々とその実践が取り上げられました。どんどんメジャーになっていき、全国から講演や研究会の講師要請で、ひっぱりだこになりました。やがて菊池先生は土日も有給休暇も使い果たす生活となり、2015年3月に学校を早期退職。現在全国を行脚しながら、自分の考えや思い、スキルなど全国に提唱しています。今年度はコロナのための臨時休校で少し回数が減りましたが、例年だと年200回以上の講演をこなしながら、小学館の雑誌や読売新聞の全国版などにも連載をもっていらっしゃいます。著書は多数で現在も次々に出版されています。ものすごい過密スケジュールをこなしている売れっ子先生です。この菊池先生がスケジュールをやりくりして、私たち田富中学校のために来校してくださいました。

27日の2校時は1年1組で、3校時は2年3組で、そして4校時は3年3組で、菊池先生自ら道徳の授業をしていただきました。本校の教職員だけでなく、中央市内の小中学校の先生方にも声をかけ、その示範授業を参観させていただきました。今、全国で“ひっぱりだこ”の菊池先生の授業を、「世界で一番受けたい授業」を受けることのできる幸運！3つのクラスの生徒は、菊池先生の温かくほめて認めてくれる言葉がけに、意欲的に、主体的に授業に取り組んでいました。放課後は先生方(市内の小中学校の先生方も一緒に)との研究会を行いました。ここでも私たち教職員に素晴らしい学びを提供してくださいました。「人に認められることも人を認めることも喜びになる」「いい人間関係があれば自分の考えや価値観を交流できる」そういう学級を、学校をつくっていくことの大切さを改めて学ぶことができました。情報ツールあふれる時代に生きる子どもたちに、自分に自信を持ち、互いに協力しながら「自分らしさ」を大切に、しなやかにたくましく歩いていく力を身に付けさせるためには、具体的にどうしていったらよいかを学ぶ貴重な機会となりました。これからの指導へ活かしていきたいと思います。

<生徒の感想>

☆とても自分のためになったし、この話を聞いてこれまでの自分の行動はよくないと改めて感じました。男女問わず、みんな平等に接して、これからのクラスがもっとまとまっていきたいなと思います。卒業してもみんなが集まることができるような最高のクラスにしたいです。ありがとうございました。(3年3組 鈴木永愛さん)

☆今日は遠いところから私たちのために来てくださりありがとうございました。仲間に自分の考えを発表するときには、ひとりになってしまう時があったけれど、菊池先生の「自分から誘う。ひとりをつくらない。」という言葉を聞き、自分から仲間を誘ったり、ひとりの人に声をかけることができました。今日のことをきっかけに自分の殻をやぶり、勇気をだして友達をたくさんつくるようにしたいと思います。(3年3組 芦澤結菜さん)



〈生徒の感想〉

☆笑顔がいいとほめられてすごうれしかったです。菊池先生から教えてもらった「拍手」や「人と話すときの大事なこと」などをしっかり生かしていきたいと思いました。菊池先生はたくさんの人に影響を与える凄い先生なんだと思いました。素敵な時間をありがとうございました。
(2年3組 小林 穂乃佳さん)



☆私たちのためにわざわざお越しいただき本当にありがとうございました。菊池先生のお話を聞き、人の違いはあっても良いものなんだと知り、うれしかったです。他人と自分の違いが嫌だったので、こんな自分でも大丈夫だとわかり自信を持ちました。素敵な授業をありがとうございました。(2年3組 山本 菜々香さん)

☆菊池先生の「せっかくだから楽しく授業をしたい」という言葉を聞いて、楽しく授業をするとどうなるか気になりました。私は、授業は真面目にやるものだと思っていましたが、楽しく授業をすると授業に集中しやすくて、すごく楽しいことがわかりました。(1年1組 長廻 義則さん)

☆今日の授業は、私たちの将来に役立つお話を聞かせていただきました。今日の授業で私は、大人を学び、本当の大人とは、どういう人なのかを学びました。そして、意見は一人ひとりちがっていいという言葉で、自信をもって自分の意見を言おうと思うようになりました。私も立派な大人になりたいと思いました。
(1年1組 鶴田 怜央奈さん)

価値ある体験の始まり ～生徒会役員に挑戦する14名～

12月3日(木)には、令和3年度の生徒会役員選挙が行われました。14名が立候補し、自分の「理想の学校」を語り、14名が責任者として応援演説を行いました。合計28名・・・と言えば、田富中学校の1、2年生の1割にもあたる人数です。挑戦者が多いことが田富中学校の今を物語っていると思います。

◇佐藤秀一さん さらによい学校にするために「みんなが心地よくいられる」「自分の良いところをあらゆる場面で発揮できる」「失敗をみんなでカバーできる」ようにし、同じ目標に向かって全校生徒と一緒に活気に満ち溢れた田富中を創っていききたい。

◇小山 蓮さん 他の生徒会役員と協力し、全校生徒の見本になれるようなあいさつ運動をしていききたいと思います。笑顔であいさつができ、活気あふれる田富中を目指し、私は活動していきたいと思います。

◇村田真優さん 今の田富中をさらに活気とメリハリのある学校にしたいと思います。今年度本部役員として運営に携わってきました。大変でしたが全校生徒の皆さんの笑顔が見れてとてもうれしかったです。先輩方からの伝統を引き継ぎ、今年一年私が得た力を最大限生かして、この田富中をさらに良い学校にしていきます。

新生徒会役員

生徒会長 佐藤 秀一さん
副会長 小山 蓮さん
 村田 真優さん
2年書記 河西 理玖さん
 有泉 妃菜さん
1年書記 望月 裕斗さん
 窪田 恵依さん



「笑顔あふれる」「あいさつ」「活気ある」「あたり前をあたり前に」・・・いくつかのキーワードが候補者から聞かれました。今後の田富中の方向を見出すことができます。選挙で選ばれた7名、事務局で加わる数名をリーダーとして、これからの、そして来年度の田富中がスタートします。しかし、リーダーを支え、田富中をつくっていくのは、全校生徒一人ひとりです。新たな歴史がはじまります。